

おおむら 山岳観光マップ



自
然
再
発
見



萱瀬スギ

平成12年に「森の巨人たち百選」に選ばれました。県内では最も古い人工林で、中でも最大のスギは「大名杉」と呼ばれ、樹高47m、幹周り4.9m、樹齢240年(推定)になります。まっすぐに伸びたその姿は雄大です。



大モミの木

大モミは樹高39m、幹周り5.6mで、モミの木としては県内一の高さです。その樹形は、230年(推定)という年月を経ても美しさを保っており、雄大さがあります。大モミまでは、黒木民宿キャンプ場から片道約40分で行くことができます。



岩屋の大ケヤキ

大ケヤキは樹高28m、幹周り5mあり、樹齢は、200年(推定)で年月を経ても、その美しさと雄大さに圧倒されます。大ケヤキまでは、岩屋越登山口から片道約40分で行くことができます。



黒木バス停まで

- 長崎空港から車で約**30分**
- 大村I.Cから車で約**25分**
- JR大村駅から車で約**30分**



大村市の観光情報
おおむら観光ナビ



お問い合わせ

大村市萱瀬住民センター	TEL.0957-55-7001
(社)大村市観光コンベンション協会	TEL.0957-52-3605
大村市観光案内所	TEL.0957-53-6060
大村市河川公園課・観光振興課	TEL.0957-53-4111
助成：(財)空港環境整備協会	

マンサク(マンサク科)

多良山系(経ヶ岳、多良岳、五家原岳)山頂の夏緑林帯に生育する落葉樹です。2月から3月にかけて葉が出る前に、他の落葉樹に先駆けて黄色のリボン状の花弁を開き、多良山系に春の訪れを告げる花です。



ツクシシャクナゲ(ツツジ科)

シーボルトが命名した花でもあり、多良山系等に分布し、大型の常緑葉を持つ色鮮やかな花です。五家原岳、多良岳、経ヶ岳周辺などに群生が見られます。



シャクナゲの里河畔公園

緑豊かな山々の景観とともに約2,500本の彩り鮮やかなシャクナゲを楽しむことができます。見頃は、4月上旬から5月上旬です。



オオキツネノカミソリ(ヒガンバナ科)

葉の状態をカミソリに見立てたことに由来しており、オレンジ色の花が咲き、多良岳山中に群生しています。特に、黒木バス停から金泉寺方向へ登る途中の西野越手前に、大群落が見られます。見頃は、7月中旬から8月上旬です。



黒木溪谷(夏)

大村市街地から車で30分走れば、真夏の暑さを忘れるくらいの別世界が待っています。シーズン中は、川遊び・森林浴・登山など多くの人が“涼”を求めて訪れます。



黒木溪谷(秋)

郡川砂防公園から上流、小川内尻川一帯は、赤や黄色の鮮やかな紅葉が広がり、訪れる人の目を楽しませてくれます。



経ヶ岳の霧氷(冬)

経ヶ岳山頂一帯の樹木につく霧氷は、キラキラと輝いており、感動的です。



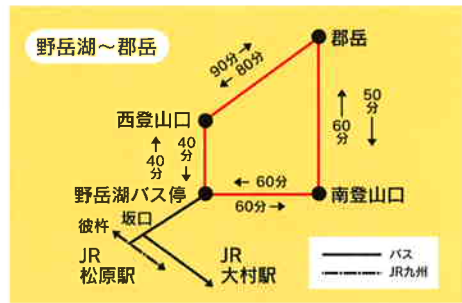
多良岳県立公園

多良岳県立公園は、長崎県と佐賀県にまたがる標高1,076mの経ヶ岳を主峰とし、多良岳(996m)、五家原岳(1,057m)を中枢とする多良岳山系に位置しています。四季のうつろいは、1,000m級の山々にふさわしく春の新緑にはじまり、5月には、見事なツクシシャクナゲが咲き競い、8月初旬には、全国的にも珍しいオオキツネノカミソリの群生が見られ、溪流での水遊び、秋の紅葉、冬には山頂付近で美しい霧水を楽しむことができます。



郡岳

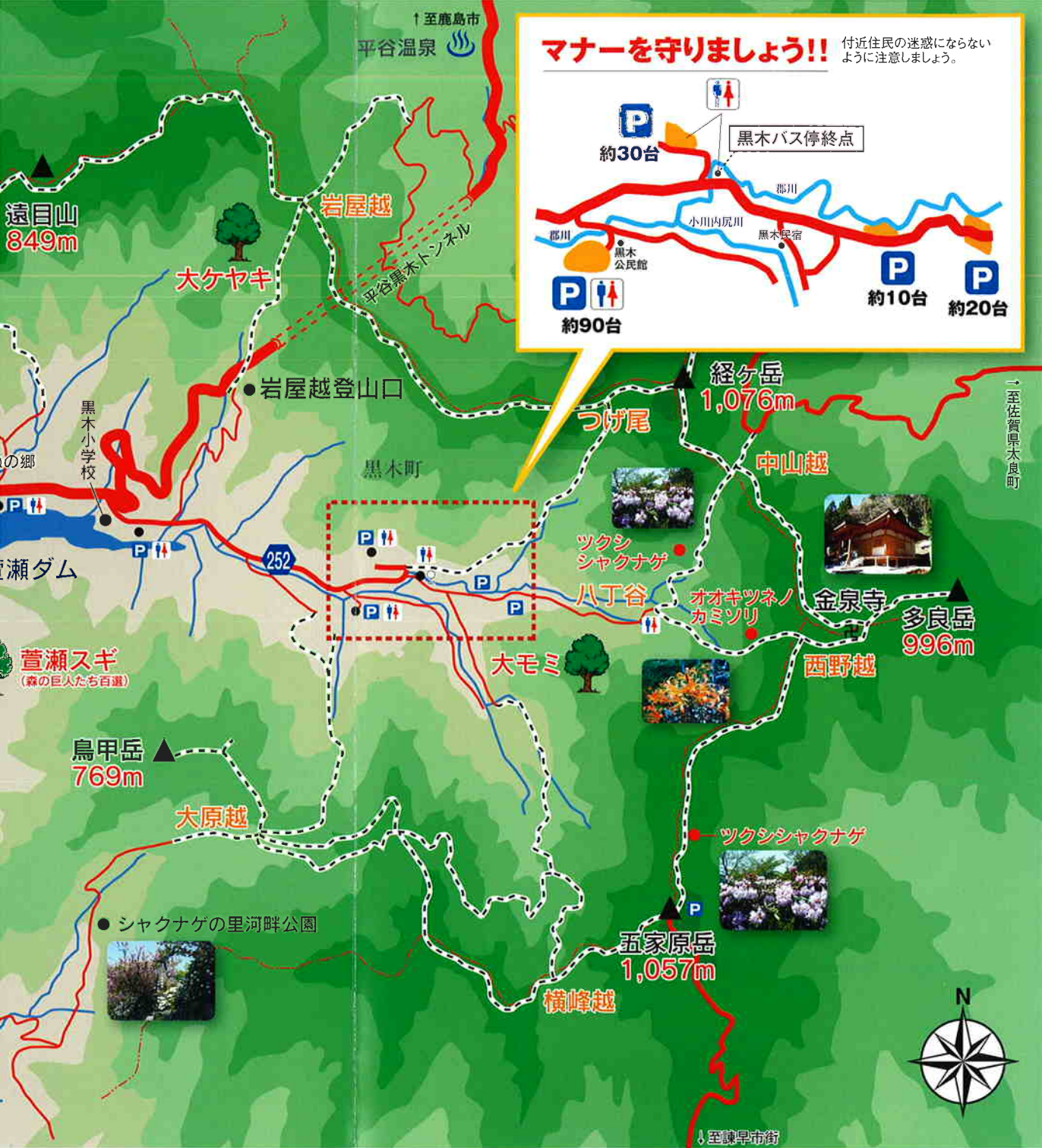
標高826m。野岳湖に近く、南登山口から約1時間の行程で山頂へ着きます。山頂からは、大村湾や市街地の平野部などが見渡せ、大村市が全貌できる場所です。山頂付近は子供たちが遊べるほどの広さがあり、年間を通して登山者が多く、市民に親しまれています。



経ヶ岳

多良山系の最高峰であり、標高1,076mの高さを誇っています。頂上までの道のりは少し険しいが、その山頂では多良山系の中で一番素晴らしい景観が楽しめます。冬には、霧水も見られます。

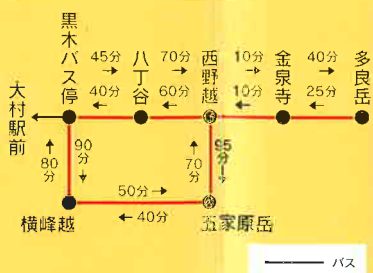




多良岳

標高996mの多良火口群主峰。石像や鎖場など、かつての修行場が残る道を抜けると山頂に着きます。山頂付近は登山客で賑わい、山腹にはススキなどが生い茂る景勝地となっています。

黒木～多良岳・五家原岳



五家原岳

一番南に位置する五家原岳は、標高1,057mであり、その頂上からは、遠く雲仙岳や阿蘇の山々も見ることができます。唯一山頂まで車で行けるのも五家原岳の特徴であり、テレビや無線の中継施設が立ち並び、市民になじみの山です。